

“社会保障の拡充” 埼玉県民の一番の要求

講師 丸山 信二氏

埼玉県社会保障推進協議会事務局長

国は、「社会保障のために消費税を

増税する」として、4月から8%

が国民生活に重くのしかかります。

一方、社会保障制度改革推進法で

は、社会保障を「自助・共助」の

枠に押し込め、国・大企業の責任

を放棄する内容になっています。

社会保障制度国民会議の報告書を

もとに社会保障改悪の日程を決め

たプログラム法（昨年暮）では、

●二〇一四年実施

○七〇歳〜七四歳の医療費自己負

担は一部から一部へ

●二〇一四年通常国会提出予定

○要支援1・2は訪問・通所介護



1月25日社会保障学習会

は保険から外し、市町村事業へ

○特養ホームの入所対象は要介護

3以上

●二〇一五年通常国会提出予定

○国保運営は市町村から都道府県に

○紹介状なしの外来・入院の定額

負担導入 ○年金収入280万

円以上は利用料の自己負担一部を

一部に（介護保険部会）

○うがい薬のみの処方保険対象

外（中央社会保険医療協議会で検

討中） ○年金給付額見直し、

支給開始年齢の引き上げは必要に

応じて見直し等々。

私たちは多数派

埼玉県政への要望（県政世論調査）

「高齢者福祉の充実」が七年連続

トップ。「医療サービス体制の整

備」が六年連続二位

私たちは多数派、いざなぎ、あ

がいているのは財界と自公政権。

福祉の現場から、地域から多数派

を形成しましょう。

（下）

“待っていたよ！”

社会福祉協議会の給食サービス

一人暮らしの方への給食サービ

スが1月28日、赤十字奉仕団の

協力で行われました。

社会福祉協議会では「地域で安心

して暮らせる町づくりをめざし、見

守り活動の一環として年3回給食

サービスを行っています。」

皆野総合センターの調理室を使

って、前日から準備を行い、当日

は、赤十字の方46名が参加、早

朝から「赤飯とバナナ」を準備し

ました。



一人暮らしで今回の給食を希望さ

れた方は、町内で182名です。

各班に分かれて、2〜3人で担当

地域の方へ配ります。

私は国神地域を担当しました。「待

っていたよ！」とうれしそうに玄

関に出て受け取ってくれました。

「変わりないですか？」と声をか

けると、笑顔で「楽しみにしてい

たよ」「かぜ、ひかないよう気をつ

けてネ」

この少しの声かけですが、一人暮

らしの方には大切なことだと感じ

ました。

又、一人暮らしの方だけでなく、

老夫婦のところにもという要望な

どお聞きしています。社教にみな

さんの声をお伝えし、少しでも多

くの方に喜んでもらえるものにし

ていけたらと思います

常山 知子



社会保障学習会

「国の責任を放棄する社会保

利

講師 埼玉県社会保障推進協議会事務局長 丸山

